



株主・投資家のみなさまへ

## 第93期 経営報告書

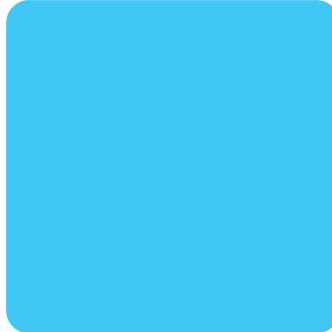
2014年4月1日から2015年3月31日まで



HSDコネクタ



Wing Touch™ 20



小型同軸カメラモジュール



CREATIVE CONNECTIVITY  
もっと創造的に、もっと繋がる

SMK株式会社

# 90th

CREATIVE CONNECTIVITY

もっと創造的に、もっと繋がる

## ■ SMK企業理念

SMKは可能性の追求を通して  
総合的な高度技術により、  
情報社会の発展に寄与する。

## ■ SMK行動指針

- 1 社会への貢献を考え、  
誇りと自信をもって行動する。
- 2 ユーザーの立場を考え、  
熱意と誠意をもって行動する。
- 3 高い目標を考え、  
失敗を恐れぬ勇気をもって行動する。
- 4 明るい社風づくりを考え、  
信頼と尊重をもって行動する。
- 5 世界の中のSMKを考え、  
国際的視野をもって行動する。

## CONTENTS

- 1 トップメッセージ
- 3 新製品ご紹介
- 4 特集：SMK90年の歩みと商品の変遷
- 5 決算ダイジェスト
- 6 コーポレートデータ

## トップメッセージ

To Our Shareholders



## ● ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第93期（2014年4月1日～2015年3月31日）の事業概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **池田 靖光**

## ● 当期の概況

当期における世界経済は、米国経済が牽引役となり、緩やかに成長しました。日本経済も一段の追加金融緩和策実施に伴い円安・株高が進展し、企業業績の回復等、成長軌道への足掛かりを掴みました。

当社グループにおきましては、自動車向けやセットトップボックス向けが好調を維持し、環境市場向けや医療・福祉関連も堅調に推移しました。リモコンやタッチパネルの新規ビジネス開始も売上拡大に貢献しましたが、スマートフォン向けやATM向けは前年を下回りました。

以上の結果、当期の連結売上高は前期比で微増、収益は前期比で減益となりました。

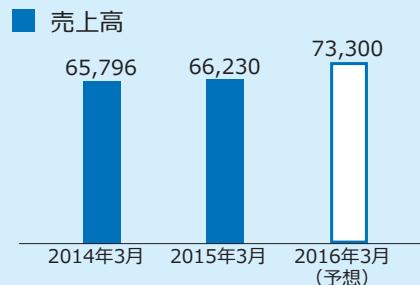
## ● 次期の見通し

今後は、自動車、情報通信など主要市場でのシェア拡大を図るとともに、環境・エネルギーやIoT(モノのインターネット)などの新市場への注力と新規事業の創出に努めてまいります。また、採算性向上、商品・技術開発力やCSR・コーポレートガバナンスの強化により、成長を継続できる企業体質づくりを進めてまいります。

## ● Challenge,Creativity,Solutions

当社グループは、2015年4月に創立90周年を迎えました。90年の歴史で培ってきた主力の技術は、無線技術、コネクタなどの接続技術、タッチパネルやスイッチなどの入力技術であり、ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノを繋ぐ技術です。今後、IoT社会が進展していくにあたり、ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノをより創造的に繋げて新しい付加価値を生み出し、豊かな未来社会の実現に貢献していこうという決意を込めて、「Creative Connectivity」を経営戦略スローガンとしました。これを実現するために、社員一人ひとりがChallenge,Creativity,Solutionsのビジョンを持ち、全力で取り組んでまいります。

## 連結業績の推移 (単位:百万円)



## 新製品ご紹介

New Product

### New Product 開発センター Bluetooth® Smart Module 「BTS01シリーズ」

Bluetooth® Version4.1 (single mode low energy radio) に準拠した、アンテナ一体型モジュール「Bluetooth® Smart Module BTS01シリーズ」を開発し、受注活動を開始しました。本製品は、モジュール単体でBluetooth® SIG および電波法の認証をすでに取得済みで、さらにFCCなど



主な用途：ヘルスケア機器、スポーツ・フィットネス機器、スマートフォンアクセサリ、PC周辺機器、各種リモコン等

の海外認証も取得を予定しており、お客様の製品リリース時の初期費用の削減に貢献いたします。今後もお客様のご要求に対応した無線モジュールの開発に努めてまいります。

### New Product FC事業部 車載用マルチタッチ静電PAD

現在、車内の操作部において、スマートフォンと同様な操作感の需要が高まってきております。当社が開発した静電PADは、2点タッチが可能で、独自のアルゴリズムにより水滴付着やコインが置かれた状態でも操作が



主な用途：遠隔操作デバイス、ステアリングスイッチ

可能となっております。また、不要輻射の発生を抑制しながらタッチ感度を向上させるという技術課題をクリアし、手袋を付けた状態でも操作ができるようになりました。

### New Product CS事業部 HSD (High Speed Data) コネクタ

カーナビゲーション、カーオーディオ、車載カメラ等といった車載機器の通信速度の高速化に伴い、新しく開発した高速伝送用のインターフェイスコネクタです。



主な用途：カーナビゲーション、カーオーディオ、車載カメラ等の車載機器

本製品はシールドで信号を囲む独自構造により、ノイズに強いという特徴を有しています。欧州自動車市場では今後標準搭載が進み、北米市場でも需要の拡大が見込まれています。

### New Product TP事業部 20インチ静電容量方式タッチパネル 「Wing Touch® 20」

当社では、これまで中小型サイズのタッチパネル開発、販売に注力してまいりましたが、市場からの大型化の要求に応えるべく、20インチサイズの静電容量方式タッチパネルを開発いた



主な用途：産業機器、医療機器、デジタルサイネージ等

しました。静電容量方式は軽く触れる事で動作する為、操作性に大変優れています。今後はさらなる大型タッチパネルの開発を推進し、市場の要求に応え続けてまいります。

※ Wing Touch®は日本国内における当社商標登録です。

# SMK90年の歩みと商品の変遷



CREATIVE CONNECTIVITY  
もっと創造的に、もっと繋がる

当社グループは、2015年4月に創立90周年を迎えました。  
創立から現在に至るまでの歩みと商品の変遷をご紹介します。

2015年4月  
創立90周年

## 商品の変遷

### 1920年代

- ローロスチューナー



### 1930年代

- ラジオ受信機



1925年4月  
創立

### 1940年代

- 真空管ソケット
- ヒューズホルダー

### 1950年代

- MT管ソケット
- 白黒テレビ用ブラウン管ソケット

### 1960年代

- カラーテレビ用ブラウン管ソケット
- スライドスイッチ

### 1970年代

- 超音波リモコン



### 1980年代

- 赤外線リモコン
- キーボード



### 1990年代

- カードコネクタ
- 抵抗膜方式タッチパネル



### 2000年代

- Bluetooth® モジュール



### 2010年代前半

- 太陽電池モジュール用コネクタ



### 2010年代後半

- IoT対応無線LANモジュール



1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

## 90年の歩み

### 1925年

故池田平四郎が池田無線電機製作所を創立

### 1937年

(注)日本ラジオ協会主催第1回ラジオ共進会において、当社のオリンピック680型ダイナミック四球式受信機が優秀品として入賞

### 1947年

電子機構部品の生産開始

### 1963年

富山工場開設（現富山事業所）

### 1973年

米国にSMK Electronics Corporation U.S.A.を設立

### 1978年

東証1部上場

### 1985年

SMK株式会社に社名変更、現本社ビル竣工、第1回SMK技術展開催

### 1999年

東京・大崎に「ゲートシティオフィス」開設

### 2015年

アイルランドにSMK Electronics(Europe)Limited開設、フィリピンにSMK Electronics(Phils.)Corporation第二工場開設、11月4日～6日 TEXPO2015開催予定

# 決算ダイジェスト

Consolidated Financial Digest

## 売上高

**66,230**百万円

(前期比 0.7%増↑)

## うち海外売上高

**54,061**百万円

(海外売上比率 81.6%)

## 営業利益

**2,113**百万円

(前期比 9.3%減↓)

## 経常利益

**4,894**百万円

(前期比 15.1%増↑)

## 当期純利益

**1,982**百万円

(前期比 22.0%減↓)

## 1株当たり当期純利益

**27.61**円

(前期比 7.97円減↓)

## ROE (自己資本利益率)

**6.0**%

(前期比 2.5ポイント減↓)

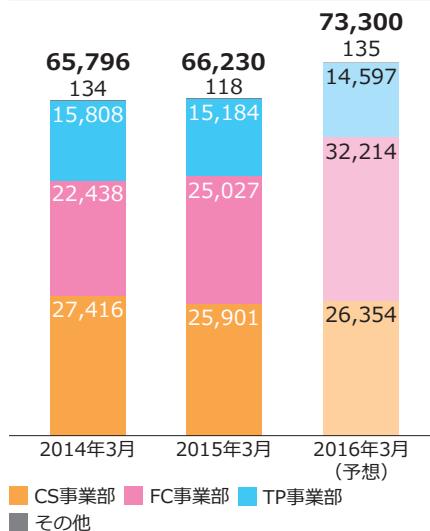
## 1株当たり年間配当金

**14**円 (中間5円、期末9円)

(前期比 4円増↑)

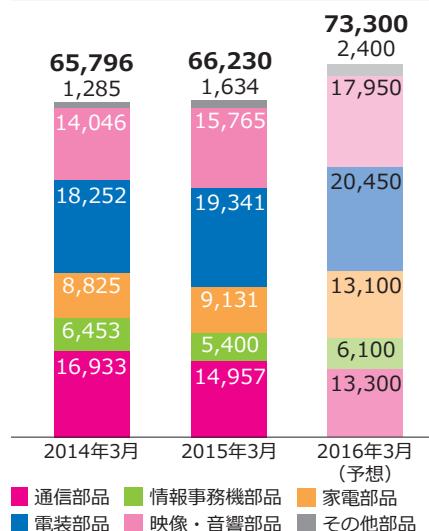
## 事業部別売上高

(単位: 百万円)



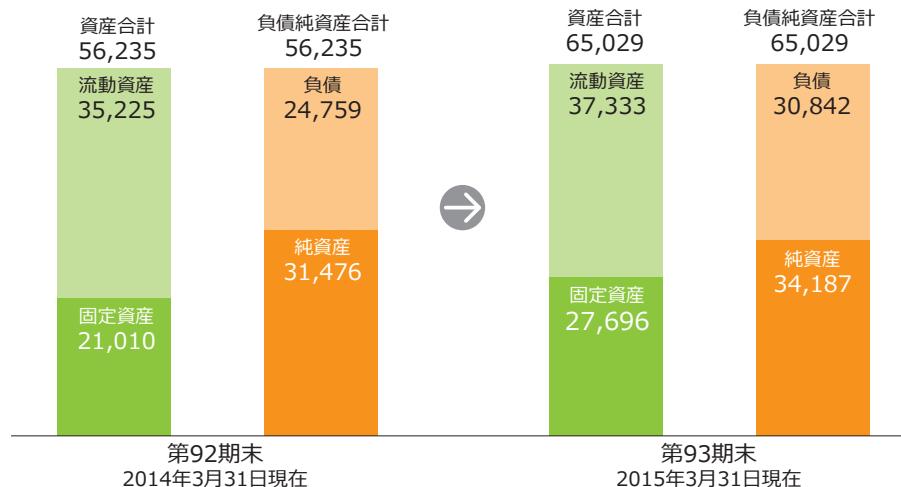
## 市場別売上高

(単位: 百万円)



## 連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)



# コーポレートデータ (2015年3月31日現在)

Corporate Data

## 会社概要

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年(大正14年)4月 3日
設立	1929年(昭和 4年)1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数 (SMKグループ)	5,772名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1878 ホームページアドレス <a href="http://www.smk.co.jp/">http://www.smk.co.jp/</a>

## 事業所一覧

### 国内拠点

ゲートシティ大崎・富山・ひたち・  
大阪・名古屋・茨城・北陸・福岡

### 海外拠点

台湾・香港・中国・シンガポール・タイ・マレーシア・  
フィリピン・韓国・アイルランド・ベルギー・イギリス・  
フランス・ドイツ・ハンガリー・アメリカ・メキシコ・ブラジル

## 株式の状況

発行可能株式総数	195,961,274株
発行済株式の総数	79,000,000株
株主数	8,735名

## 役員一覧 (2015年6月23日現在)

### 取締役および監査役

代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	櫻井 慶雄
取締役常務執行役員	角 芳幸
取締役常務執行役員	若林 幹雄
取締役	棚橋 祐治
常勤監査役	池田 彰孝
常勤監査役	中村 哲也
監査役	中島 成
監査役	清水 一郎

### 執行役員

常務執行役員	ポール・エバンス
常務執行役員	大垣 幸平
執行役員	松本 秀夫
執行役員	磯田 勉
執行役員	宮川 宏
執行役員	柳 茂哉
執行役員	石橋 竹己
執行役員	関 晴孝
執行役員	池尾 政信
執行役員	後藤 光彦
執行役員	原 哲雄

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月開催
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会の基準日	3月31日 上記のほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
公告掲載URL	<a href="http://www.smk.co.jp/">http://www.smk.co.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所（市場第一部）
証券コード	6798
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区 東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料) ホームページアドレス <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR 情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.smk.co.jp/>

当社はウィルチェアーラグビーの羽賀理之選手を応援しています。

<https://www.facebook.com/massasmk>

## SMK株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号  
TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1878  
ホームページアドレス <http://www.smk.co.jp/>

## 株式に関するお問合せ先・お手続き先

株式に関するお問合せ先および株主様の住所変更、**単元未満株式の買増・買取請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、配当金のお振込**等のお手続き窓口は、次のとおりとなります。

1. 証券会社の口座で株式をご所有の株主様：  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
2. 特別口座で株式をご所有の株主様：  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(左記「株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関」の連絡先をご参照ください。)

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 単元未満株式(1,000株未満の株式)の買増・買取請求のご案内

当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。

- 買取・買増請求制度の例(1,700株ご所有の場合)

